



この度の熊本地震の被災に際しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この度の震災に際し、保護者ならびに地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。まだまだ余震が続いていて、安心できる状況とはいえませんが、一日も早い復興と皆様の健康が守られますことを心からお祈り申し上げます。

4月14日と16日、これまで体験したこともない強い揺れに誰もが驚き、怖い思いとライフラインがなかなか整わず不自由な生活も体験しました。子どもたちの恐怖と不安も計り知れないものだったと思います。開校そして1学期始業早々のことで、連絡網も整わないまま、各ご家庭と連絡を取りながら、南阿蘇中学校の子どもたちが全員元気でいるということがわかった時、職員みんなで胸を撫で下ろしました。震災後、特に被害を受けられた保護者の皆様方や生徒の皆さんは、それぞれに各避難所等で生活をされ大変な御苦勞をされたことと思います。しかし、各避難所では大変な中にもかかわらず、高校生や中学生が率先してボランティア活動に汗している姿を見て本当に頭の下がる思いでした。また、保護者の皆様や地域の皆様方にも、生徒や職員へのご心配、学校再開に向けての準備等、献身的に様々な面でお力をいただきました。皆さんのパワーとお心遣いにどれほど勇気を与えていただいたことか、感謝の念に絶えません。書面を借りて厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本日5月9日(月)に学校再開となり、新たな一步を踏み出しました。子どもたちは久しぶりの友だちや先生と顔を合わせ、久々に中学校に子どもたちの声が響き、笑顔が広がっていました。子どもたちのパワーを感じ、ますますがんばらなければ…という思いを強くしました。ただ、怖い体験をしたことによる不安を抱えている子どもも多く、心のケアに努めることに重点を置きながら、子どもたちと向かい合っていきたいと考えています。余震も続いていることから、安全面・健康面等での配慮は必要不可欠です。学校再開を機に前に進む一步を踏み出したとはいえ、これからも様々なこと、困難なことがあるかと思いますが、全職員が一人一人の担任という意識で子どもたちに寄り添い、全力で支えていきます。子どもたちにも、気持ちを強くもって、力強く前を向いて進んでほしいと心から思っています。皆様のご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

がんばろう！南中

校舎等の状況について

文部科学省及び県から派遣された応急危険度判定の結果により、校舎内は大丈夫でしたが、旧校舎の壁面にひびが入っていましたので、業者に来ていただき危ないよう措置していただいています。今後、状況を見ながら、危険がある部分などには、ロープを張ったり張り紙をしたりして、立ち入りを規制したいと考えています。子どもたちにも十分指導をしていきたいと思っています。

お気づきがあれば情報をお寄せください。

子どもたちの通学路については教育委員会及び職員が家庭訪問させていただいた機会等も含め、複数回にわたり安全確認をしましたが、余震の影響も懸念され、日々状況は変化しているかと思っています。落下物の危険、道路の状態など、お気づきの点がありましたら、学校にお知らせいただけると幸いです。必要に応じて、家庭にもお知らせしていきたいと思っています。

今後も連携・協力をお願いします。

今回の震災により、本校の体育館も避難所となり、今なお多数の方が生活をとまっています。そんな中、本校の生徒をはじめ卒業生たちの若い力が率先してボランティア活動に取り組むなど大きな支えとなってくれました。自らも被災している立場でありながらも、様々な場面で献身的に働く姿を目にし、胸が熱くなりました。と同時に、この支えあう力が復興への大きなエネルギーになると確信しました。また、保護者の皆様への連絡手段として活用している安心メールや連絡網が、年度当初だったこともあり十分整っていない中で、お知らせやお願い等をすることも多く、大変ご迷惑をおかけしました。そうした中でも、様々な形で連携をとりながら進めていただきました。ご協力に感謝申し上げます。これからも学校・家庭・地域との連携・協力を図りながら取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。